

2か月に渡る白熱戦！

8月から10月の約2か月間、第55回沖縄県身体障害者スポーツ大会が開催されました。

8月3日にアーチェリー競技会、8月24日に卓球・サウンドテーブルテニス・水泳競技会、9月14日にはフライングディスク競技会が行われ、本市からも多くの選手が参加しました。

10月5日には、沖縄県総合運動公園で、本大会である陸上競技大会が開催されました。

陸上競技大会では、視覚、聴覚、肢体等の障害別に分かれ、100m走、ソフトボール投、走幅跳等を地区ごとに競い合いました。沖縄市地区の選手は、障害別リレーで2位になる等の健闘を見せ、2位の豊見城地区と1点差での総合3位入賞を果たしました。



9/29

沖縄発信のダンス交流イベント

県内外のダンサーの交流等を図り観光誘客にもつなげようとKOZASTREETDANCEFEST2019（同実行委員会主催）が、9月28日、29日に開催されました。

ミュージックタウン音市場で行われた「ダンスショーケース」には20チームが参加しました。市内のダンススタジオからも多くのチームが出場し、県内外のダンサーが日頃の成果を発表し交流を深めました。



10/11

ハンドボールのトップをめざせ！

トップアスリートの技術等を学ぶハンドボール講習会（コザハンドボール協会主催）が10月11日・12日に県総合運動公園で開催されました。

講師はハンドボール日本代表女子の元監督でもある黄慶泳氏、補助指導員は元日本代表選手の金城晶子さん、田口舞さん、新城明奈さん。市内の小・中・高校生が参加し、世界レベルの監督と選手から熱い指導を受けました。



9/27

技術を磨き、地域を守る

普段はそれぞれの職を持ちながら、災害が発生した場合には自宅や職場から出動して消防職員と力を合わせて地域を守る消防団の技術の向上や活動の進歩・充実を目指す「沖縄県消防協会中部地区支会消防団操法大会」が、沖縄県消防学校で開催されました。

沖縄市消防団は4種目に出場し、見事、小型ポンプ操法の部で男女とも1位を、応用操法の部で2位を勝ち取りました。

ポンプ車操法の部、小型ポンプ操法の部（男子・女子の部）、応用操法の部の競技種目に、沖縄市消防団を含む中部地区の6つの消防団が参加し、迅速な行動、チームワーク、消防用器具の正確な操作等を競い合いました。



まちの話題・市民の活躍

10/8

優良建設業者の功労をたたえる

市の発注する建設工事のうち、特に優良なものを施工した建設業者を表彰する「令和元年度沖縄市優良建設工事表彰式」を、市役所で開催しました。

表彰されたのは、21の建設業者で、受賞者を代表して株式会社富建の金城進代表取締役が「今回の賞を一步とし、さらなる高みを目指し、沖縄市のまちづくりに寄与して質の高い社会資本整備を推進していきたい」とあいさつしました。



9/25

沖縄アリーナと連携したまちづくり

2020年に完成予定である沖縄アリーナに期待される高い集客力を活かして、まちなかへの賑わいに繋げていく仕組みづくりなど、地域活性化への機運醸成を図るためのまちづくり勉強会が市役所で行われました。胡屋地区の関係団体や店舗をかまえている関係者18名が参加し、アリーナへ来る観客を中心市街地と呼び込むための課題や解決策、今後の取組等について、活発な議論が交わされました。



9/11

また一步、災害に強いまちへ

株式会社ダイワテック、株式会社BRILLIANT T両社と本市との「災害時における資機材のレンタルに関する協定」の締結式を市役所で行いました。

この協定は、津波等の災害時、両社が管理・運営する無日照で2〜3日エアコンや水等が使用可能なソーラーシステムハウスやソーラーバイオートイレを避難所等に設置し、被災者の良質な生活環境を確保することを目的に締結されました。



9/27

周りを 自分を 幸せにする働き方のススメ

choinaca合同会社代表の矢口真紀氏を講師に迎え「わたしたちの月3万円ビジネススー愉しく、稼ごう」と題したワークショップと講演会が、9月27日、28日にSTARTUP LAB Lagoon KONAで行われました。子育て世代や働き盛りの女性等が参加し、自分の得意なこと、人に喜んでもらえることを見つけ、月3万円位を愉しく稼ごうとの魅力等を学びました。



9/30

観光バスから飲酒運転根絶をお知らせします

交通事故のない安心・安全な沖縄地区を目指し、中部観光バス株式会社で「飲酒運転根絶PRバス出発式」観光バスから飲酒運転根絶を発信し「が行われ、沖縄警察署から同社へ飲酒運転根絶PRDVDが贈られました。

中部観光バスでは、バスの乗客に向け、DVDを車内で放映しながら、バスガイドが飲酒運転根絶の広報を行う取り組みが始まりました。



9/21

心もお腹も満たす善意

台風17号で避難している方々に渡してほしいと、安慶田に本店のあるパン屋「ベルガモット」から約700個のパンが寄贈されました。

寄贈されたパンは、市役所、かりゆし園、市福祉文化プラザに避難している市民や、沖縄中部療育医療センター、社会福祉法人美さと児童園の入所者等へ配布しました。



9/16 新100歳の慶祝訪問
ご長寿おめでとうございます

敬老の日、桑江市長と小浜市議会議長が、今年度100歳になる市民の中から、比嘉ツルさん、金城睦徳さん、仲宗根きよさん、金城ヨシさんの4人のご自宅を訪問し、今まで長年の間、沖縄市の発展にご尽力された4人に対し、感謝と敬意を伝えました。

桑江市長からは内閣総理大臣からの祝状と記念品の銀杯、市からの目録が、小浜議長からは県知事からの祝状がご本人に手渡されました。

4人とも大勢の家族に囲まれながら、祝状や慶祝訪問に対する感謝の言葉や長生きの秘訣等をにこやかに話しました。

今年度、100歳を迎える市民は男性5人、女性23人の計28人です。皆さまの末永いご健康とご多幸を心よりお祈りしております。



9/20 沖縄こどもの国
運転免許返納の後押し

地域が一体となり高齢者の交通事故防止を図るため、沖縄こどもの国の理事長を務める桑江市長と大城辰男沖縄警察署長は、沖縄こどもの国で、運転免許証返納者に対する優遇措置に関する覚書を締結しました。

これにより、沖縄こどもの国では、運転免許証返納者が証明書を提示することで、入場料が半額になる優遇措置を受けることができるようになりました。



9/26 『認知症』
知ろう 考えよう 備えよう

誰もがかかる可能性のある身近な病気である認知症の普及啓発のため、9月26日と27日に、市役所で、「第4回おきはカフェinおきなわcityhall」を開催しました。

認知症予防運動であるコグニサイズや事業紹介等のパネル展示、情報交換や相談等を行えるカフェコーナー等があり、来場した多くの市民は、楽しみながら認知症についての知識を深めました。



「うるま市・沖縄市ちゅらまーみプロジェクト」

本市では、生活習慣病の一つである慢性腎臓病（以下CKD）対策として、ちゅらまーみプロジェクトを行っています。

CKDは無症状のことが多く、異変に気付いた時には、手遅れになっている場合があります。

このプロジェクトは、健診結果（尿蛋白やeGFR等）の値から、必要に応じて医療機関を紹介し、早期発見・早期治療に繋げることを目的としています。プロジェクトの登録医がいる医療機関は、ポスターとのぼりが目印です（市HPでも医療機関一覧を掲載しています）。

また、塩分を控えることがCKD予防にはとても大切なことから、保健指導対象者に、普段の位塩分を摂っているか分かる尿検査を今年度から実施しています。

まずは、一年に一度、健診を受けてこれらの値をチェックして下さい。



市民健康課（内線2262）